科目基礎		等専門学	校   開講年度 令和06年度(	2024年度)	授	業科目	画像情報システム		
			,						
科目番号	~11.7TM	i0630		科目区分 専門 / 選持		専門 / 選	·····································		
受業形態		講義		単位の種別と単		履修単位			
<del>文架///                                    </del>		情報工		対象学年		5	· <del>-</del>		
引設期		前期	J 1 1	週時間数 2					
数科書/教	***		- 市著『ディジタル画像処理入門』コロフ	1					
211日/32 旦当教員	: [2]	和﨑浩		11、2002年、2200円(十亿)					
= <u></u> 到達目標	<u> </u>	1H=9 7H	т						
ディジタル 農度変換、	レ画像の構造 空間フィル	造について ルタ、2値化 ムを実装で	説明できる。また、濃度変換による画質 と処理と表現方法、膨張・収縮処理、符 きる。	質改善方法を理解し 行号化方法、パター	,、実装で ンパッチ	ごきる。 ・ングの基	礎、DFTなどの各処理方法について		
レーブリ	ノック								
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ	票準的な到達レベルの目安 の目安		未到達レベルの目安		
評価項目1			ディジタル画像の構造とデータ処 理の方法について理解し、選択し た課題の達成ができる。	ディジタル画像の構造とデータ処 理の方法について理解し、一部を 除いた課題の達成ができる。			ディジタル画像の構造とデータ処理の方法について理解できていない。または課題が達成できない。		
評価項目2			濃度変換処理ついて理解し、選択 した課題の達成ができる。	濃度変換処理ついて理解し、一部 を除いた課題の達成ができる。			濃度変換処理について理解できな い。または課題が達成できない。		
評価項目3			空間フィルタ処理について理解し 、選択した課題の達成ができる。	空間フィルタ処理ついて理解し一部を除いた課題の達成ができ。		理解し、 ができる	空間フィルタ処理について理解できない。または課題が達成できない。		
評価項目4			膨張・収縮処理とランレングス表 現について理解し、選択した課題 の達成ができる。	現について理解	張・収縮処理とランレングス表 について理解し、一部を除いた 題の達成ができる。		膨張・収縮処理とランレングス表現について理解できない。または 課題が達成できない。		
評価項目5			パターンマッチングの基本とテンプレートマッチングについて理解し、選択した課題の達成ができる。	プレートマッチ	ッチングの基本とテン ッチングについて理解 除いた課題の達成がで		パターンマッチングの基本とテンプレートマッチングについて理解できない。または課題が達成できない。		
評価項目6			DFTの基本を理解し、選択した課題の達成ができる。	DFTの基本を理 た課題の達成が	解し、- できる。	部を除い	DFTの基本が理解できない。または課題が達成できない。		
学科の到	]達目標耳	頁目との原	関係						
<b>教育方法</b>	上华								
既要		まず、	服システムでは、ディジタル画像処理のディジタル画像の構造について理解し、2885年で、連席変換、空間フィルター、2885年で、連席変換、空間フィルター、	D基本的な処理に、 プログラミングて 値ル加速 レキュナ	)いて字() 「画像デ- 注	ぶ。 -夕を扱う - ハワメテックロ゙エ	方法について学ぶ。		
	か方・方法	次に演している。	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認た 全ての課題から10課題以上を達成するる	値化処理と表現方 の、課題に取り組み の処理手法にしたか ができたら、ソース こと。また、指定で	法、膨張 ながら体 でって各部 マアイル	・収縮処3 は得する。 課題につい レと確認結	<ul><li>里、符号化方法、パターンパッチン</li><li>て処理プログラムを作成し、テスト</li><li>果を電子ファイルとして提出する。</li></ul>		
受業の進め		次の最画課課と2課でデ授りに基初像題題。回題き一業組成の点の対象を記述していた。	習形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が 全ての課題から10課題以上を達成する。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 常に課題に 、 常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほに こと。 ところいら進めて構つない。 の理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほに こと。	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、ソースできた、指定できまた、指定でで評価する。 こ取り組んで達成する。 は、まる丸めが起こりでは、まる東側による丸めが起こまでである。	法、膨張 ながら体 くファイル された課題 こことに	・収縮処 ・得する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	里、符号化方法、パターンパッチン て処理プログラムを作成し、テスト 果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。		
受業の進め 注意点 受業の属		次の最画課課と2課でデ授り指の記念を持ちさい。	習形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が 全ての課題から10課題以上を達成する。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 常に課題に 、 常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほに こと。 ところいら進めて構つない。 の理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほに こと。	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、ソースできた、指定できまた、指定でで評価する。 こ取り組んで達成する。 は、まる丸めが起こりでは、まる東側による丸めが起こまでである。	法、膨張体がって各割によってを表す。 ファイル こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	・収縮処 ・得する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	里、符号化方法、パターンパッチンで、 で処理プログラムを作成し、テストは果を電子ファイルとして提出する。 で、PDF化したレポートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に耳		
受業の進め 注意点 受業の属	属性・履値	次の最画課課と2課でデ授り指の記念を持ちさい。	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が 全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほに こと。 によいでは、必ずレポートを提	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、ソースできた。また、指定でで評価する。 に取り組んで達成する。 に取り組んで達成する。 に取り組んで達成する。 による達成は可能は可能を表すること。	法、膨張体がって各割によってを表す。 ファイル こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	・収縮処 ・得する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	里、符号化方法、パターンパッチンで、 で処理プログラムを作成し、テストは果を電子ファイルとして提出する。 で、PDF化したレボートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に取		
受業の進め ・意点 ・意点 ・アクテ	<u>属性・履何</u> -ィブラーニ	次の最画課課と2課でデ授り指の記念を持ちさい。	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が 全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほに こと。 によいでは、必ずレポートを提	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、ソースできた。また、指定でで評価する。 に取り組んで達成する。 に取り組んで達成する。 に取り組んで達成する。 による達成は可能は可能を表すること。	法、膨張体がって各割によってを表す。 ファイル こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	・収縮処 ・得する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	里、符号化方法、パターンパッチンで、 で処理プログラムを作成し、テストは果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレボートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に取		
受業の進め 注意点 <u>受業の</u> 属	<u>属性・履何</u> -ィブラーニ	次の最画課課と2課でデ授り指の記念を持ちさく。	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が 全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほに こと。 によいでは、必ずレポートを提	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、ソースできた。また、指定でで評価する。 に取り組んで達成する。 に取り組んで達成する。 に取り組んで達成する。 による達成は可能は可能を表すること。	法が、各別では、おいて、これに、おいて、これに、おいて、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに	・収縮処 ・得する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	里、符号化方法、パターンパッチンで、 て処理プログラムを作成し、テスト 果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出するこ 題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に取 図 実務経験のある教員による授		
受業の進め 注意点 受 <u>業</u> の属	<u>属性・履何</u> -ィブラーニ	次の最画課課と2回課でデ授り指している。 最高課課と2回課でデ授り指して として はいかい はるの時がさい として 過して はいかい はんかい はんかい はんかい はんかい はんかい はんかい はんかい	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 れた課題については、必ずレポートを提 して利用	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できまた、指定できまた、指定ではいる。  「取り組んで達成すりできる。」  「取り組んで達成すりでは、ままでは、でいる。」  「取り組んで達成すりが起こりでは、まる。」  「取りを持ちます」  「ないますが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	法ないってかれています。 おいま はいかい こうれい こう	・ 収縮処。 課題 に で い に ま 注 ま 注 ま が 、	里、符号化方法、パターンパッチン て処理プログラムを作成し、テスト 果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に耳 図 実務経験のある教員による授		
受業の進め 主意点 受 <u>業</u> の属	<u>属性・履何</u> -ィブラーニ	次の最画課課と2回課でデ授り指の区域を記述していませた。このでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 れた課題については、必ずレポートを提 して計算していては、必ずレポートを提 で、必ずレポートを提 にないでは、必ずレポートを提 で、必ずレポートを提 にないでは、必ずレポートを提 が、過度変換の各手法について学ぶ。	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できたまた、指定できたまた、指定できたまた。といまなが超れて達成すり組んで達成が起こ。  「関のできた」を表現のでは、対して、対して、対して、対して、対し、は、のがは、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	法ない ファ たま と で	・ 収縮る。 課題 と確つい また また また また また また でか、 かり かりの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テスト果を電子ファイルとして提出する。で、PDF化したレポートを提出するで、プログラムを作成すること。要なら時間外等を利用して課題に更要なら時間外等を利用して課題に更要なら時間外等を利用して課題に更要なら時間外等を利用して課題に更要ならいで要素について理解する。		
受業の進め 注意点 <u>受業の</u> 属	<u>属性・履値</u> ・イブラーニ	次の最画課課と2回課でデ授り指を上グの最画課課と2回課でデ授り指を上グ週週週間である。例前のでは、「一人」の「一人」の	習形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 試験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に といっては、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 九た課題については、必ずレポートを扱い フトを提供を ついては、必ずレポートを扱い。 「日本でのでは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日ででは、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、必ずレポートを扱い。」 「日本では、これでは、必ずレポートを扱い。」 「日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できたまた、指定できたまた、指定できたまた。といまなが超れて達成すり組んで達成が起こ。  「関のできた」を表現のでは、対して、対して、対して、対して、対し、は、のがは、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	法ない ファた まか て アル ここ ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの こう	・ 収縮る。 課題と確つい また、 ここで また、 ここで でで でで でで でで でで でで でで でで で	里、符号化方法、パターンパッチン て処理プログラムを作成し、テスト 果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。  題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に耳 図 実務経験のある教員による授  「関連」 関係 とデータ処理の方法について  「関連」 と で		
受業の進め 意点 フクテ	<u>属性・履何</u> -ィブラーニ	次の 最画課課と2回 課でデ授り指 の 最画課課と2回 課でデ授り指 の 国 週 週 週 週 週 週 週 週 週 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明し 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認力 全ての課題から10課題以上を達成する。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できたまた、指定できたまた、指定できたまた。といまなが超れて達成すり組んで達成が起こ。  「関のできた」を表現のでは、対して、対して、対して、対して、対し、は、のがは、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	法ない。 これ こここと で	・ 収縮る。 課題と確つい また、 ここで また、 ここで でで でで でで でで でで でで でで でで で	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テスト果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。 、DTログラムを作成すること。要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間がある。		
業の進め 意点 アクテ	<u>属性・履値</u> ・イブラーニ	次の 最画課課と2 課でデ授り指 の 最画課課と2 課でデ授り指 の 多 上 グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 試験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 地理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 九た課題については、必ずレポートを掛け プログランとのでは、必ずレポートを扱いまでは、 は、第二ででは、必ずレポートを扱いまでは、 は、要変換の各手法について学ぶ。 オペレータを用いた空間フィルタにないます。 課題に取り組む。 同上	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できたまた、指定できたまた、指定できたまた。といまなが超れて達成すり組んで達成が起こ。  「関のできた」を表現のでは、対して、対して、対して、対して、対し、は、のがは、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	法ない これ ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの	・ 収縮る。 課題と確つい また、 ここで また、 ここで でで でで でで でで でで でで でで でで で	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テスト果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、プログラムを作成すること。要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要ならいて理解する。		
受業の進め	<u>属性・履値</u> ・イブラーニ	次の 最画課課と 21 課でデ授り指 の 最画課課と 1 課でデ授り指 の 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 用いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 九た課題については、必ずレポートを掛け □ ICT 利用  授業内容 ディジタル画像の構造とデータ処理で ぶ。 濃度変換の各手法について学ぶ。 オペレータを用いた空間フィルタにで 課題に取り組む。 同上 同上	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できたまた、指定できたまた、指定できたまた。といまなが超れて達成すり組んで達成が起こ。  「関のできた」を表現のでは、対して、対して、対して、対して、対し、は、のがは、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	法ない ファ ここ ここと	・ 収縮る。 課題と確つい また、 ここで また、 ここで でで でで でで でで でで でで でで でで で	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テスト果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、プログラムを作成すること。要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要ならいて理解する。		
受業の進め   受業の   展業   の   展業   の   展業   計画	<u>属性・履値</u> ・イブラーニ	次の最画課課と2回題でデ授り指のを記述しています。 はいのでは、これででは、ののでは、これでは、ののでは、これでは、ののでは、これでは、のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として い評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 たま課題については、必ずレポートを扱っ は、第二でのでは、必ずレポートを扱った。 では、必ずレポートを扱った。 は、で変数の型ででは、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、できないでは、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、必ずレポートを扱った。 は、では、のでは、必ずレポートを扱った。 は、では、のでは、必ずレポートを扱った。 は、では、のでは、必ずレポートを扱った。 は、では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できたまた、指定できたまた、指定できたまた。といまなが超れて達成すり組んで達成が起こ。  「関のできた」を表現のでは、対して、対して、対して、対して、対し、は、のがは、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	法ない。 フャー で さん で で で で で で で で で で で で で で で で で	・ 収縮る。 課題と確つい また、 ここで また、 ここで でで でで でで でで でで でで でで でで で	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テスト果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、プログラムを作成すること。要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要ならいて理解する。		
受業の進め   受業の   展業   の   展業   の   展業   計画	<u>属性・履値</u> ・イブラーニ	次の 最画課課と2 課でデ授り指 か 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構つない。 処理を体を占めるので、満に変数の型や演算 はついては、必ずレポートを担てに でいた課題については、必ずレポートを担てとませます。 では、はについては、必ずレポートを担ては、 はずイジタル画像の構造とデータ処理の でいる。 には、はでは、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができたら、、指定できたまた、指定できたまた、指定できたまた。といまなが超れて達成すり組んで達成が起こ。  「関のできた」を表現のでは、対して、対して、対して、対して、対し、は、のがは、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	法ない つれ る ると ix 週 デ解 濃オ 課る 同 同 同 同 同 同 日 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	・ 関題 はで はで で に で で に で で に で で に で で に で で に で で に で で に で の の の の の の の の の の の の の	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テストは果を電子ファイルとして提出する。こ、PDF化したレポートを提出する。 題の難易度はばらつきがあるので、プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に関係なら時間外等を利用して課題に関係して課題に関係していて課題のある教員による投資について理解する。		
受業の進め 注意点 受業の属	<u>属性・履値</u> ・イブラーニ	次の最画課課と2回題でデ授り指のを記述しています。 はいのでは、これででは、ののでは、これでは、ののでは、これでは、ののでは、これでは、のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が 全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 た課題については、必ずレポートを掛け では、必ずレポートを掛け では、必ずレポートを掛け では、必ずレポートを掛け では、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを提供 には、のでは、必ずレポートを提供 には、のでは、必ずレポートを提供 には、のでは、必ずレポートを提供 には、のでは、必ずしましましましましましましましましましましましましましましましましましましま	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができた。、ソースできた、指定でできた。で評価する。 こ取り組んで達成すりできなががは可能はある。 こ取りはる丸めがは可能を表現のでは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別	法ない Jt るると To 週 デ解 濃才 課る 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 日 中 間 膨ら 各 기課 と とわ と ジる 変レ に とり る 変レ に といる 変レ に といる 変レ に といる 変レ に は 試 試	・ は は は は は に は に は に に に に に に に に に に に に に	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テスト果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。 、DTログラムを作成すること。要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間外等を利用して課題に重要なら時間がある。		
受業の進め	<u>属性・履値</u> ・イブラーニ	次の 最画課課と2 課でデ授り指 の 最画課課と2 課でデ授り指 の 上 グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う。 対して作成したプログラムの動作確認が全ての課題から10課題以上を達成する。 機の平均点を60%、課題を40%としず評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 記された課題については、必ずレポートを提 に表課題については、必ずレポートを提 にまましてがでは、必ずレポートを提 が、。 環度変換の各手法について学ぶ。 オペレータを用いた空間フィルタに 課題に取り組む。 同上 同上 同上 同上 同上	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができた。、 ソースできた、 指定できた。 できた、 指定では ののできた。 できた のできた。 できた のできた。 できた のできた。 できた のの方法について学のいて学ぶ。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた	法ない つれ る ると	・得 親 レ 題 に ま 注 る の 夕 ら 換 一 つ に 験 験 収 ン F に 線 る で の 緒 て で の 縮 マ と で の に ま 注 の と で で の 縮 マ と で の に ま れ で で の ま の ま の と で の ま れ で と で の ま れ で と で の ま れ で と で の ま の ま 値 と で の ま 値 と で の ま で の ま で の ま の ま 値 と で の ま 値 と で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で で の ま で で で の ま で で で の ま で で で で	里、符号化方法、パターンパッチンで処理プログラムを作成し、テストは果を電子ファイルとして提出する。、PDF化したレポートを提出する。で、プログラムを作成すること。要なら時間外等を利用して課題に関連を表して、といて理解する。いた空間フィルタについて理解する。いた空間フィルタについて理解する。いた空間フィルタについて理解する。いたの表現方法について理解する。アグの基本を理解する。アグの基本を理解する。この日本を理解する。この日本を理解する。この日本を理解する。この日本を理解する。この日本を理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本を理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本について理解する。この日本に対しては、アファイルというないは、アファイルというないはないまないは、アファイルというないはないないはないはないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな		
受業の進め 主意点 受業の属 アクテ 受業計画	属性・履加 ・イブラーニ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	The control of th	図形式で、濃度変換、空間フィルタ、2 DFTなどの各処理方法について説明と 各処理手法についての説明を行う。その 相いて動作確認を行う」の動作確認が 全ての課題から10課題以上を達成する。 は験の平均点を60%、課題を40%として が評価全体を占めるので、着実に課題に ところから進めて構わない。 処理を行うときは、常に変数の型や演算 間内に集中して課題に取り組めば、ほぼこと。 た課題については、必ずレポートを掛け では、必ずレポートを掛け では、必ずレポートを掛け では、必ずレポートを掛け には、必ずレポートを提供 には、必ずし、必ずし、必ずし、必ずし、のでは、必ずし、のでは、必ずし、のでは、必ずし、のでは、必ずし、のでは、のでは、必ずし、のでは、必ずし、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	値化処理と表現方人、課題に取り組みの処理手法にしたかができた。、 ソースできた、 指定できた。 できた、 指定では ののできた。 できた のできた。 できた のできた。 できた のできた。 できた のの方法について学のいて学ぶ。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた	法ない つれ る ると	・得 親 レ 題 に ま 注 る の 夕 ら 換 一 つ に 験 験 収 ン F に 線 る で の 緒 て で の 縮 マ と で の に ま 注 の と で で の 縮 マ と で の に ま れ で で の ま の ま の と で の ま れ で と で の ま れ で と で の ま れ で と で の ま の ま 値 と で の ま 値 と で の ま で の ま で の ま の ま 値 と で の ま 値 と で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で で の ま で で で の ま で で で の ま で で で で	里、符号化方法、パターンパッチン て処理プログラムを作成し、テスト 果を電子ファイルとして提出する。 、PDF化したレポートを提出する。  題の難易度はばらつきがあるので、 プログラムを作成すること。 要なら時間外等を利用して課題に耳 図 実務経験のある教員による授 について理解する。 いた空間フィルタについて理解する。 いた空間フィルタについて理解する。 いた空間フィルタについて理解する。 いた空間フィルタについて理解する。 いた空間フィルタについて理解する。 いら、必要な復習を行う。 化図形の表現方法について理解する。 ・グの基本を理解する。		

		13週	司上			同上						
	14週		同上			同上						
		15週	定期試験の解答と解説を行う。			定期試験の結果から、必要な復習を行う。						
	16週											
評価割合												
	i	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他(課題)	合計				
総合評価割合		60	0	0	0	0	40	100				
基礎的能力		0	0	0	0	0	0	0				
専門的能力		60	0	0	0	0	40	100				
分野横断的能力		0	0	0	0	0	0	0				